

2023年7月31日

～みんなの健活プロジェクト～
**米州開発銀行が発行する「サステナブル・ディベロップメント・ボンド」
 (愛称:「健活ボンド」) への投資について**

明治安田生命保険相互会社(執行役社長 永島 英器)は、米州開発銀行(以下「IDB」)が発行する「サステナブル・ディベロップメント・ボンド」(以下「本債券」)に160百万豪ドル(約152億円)を投資しましたのでお知らせします。医療体制の改善や健康的な生活習慣の促進を通じた健康増進をサポートする本邦初の債券として「健活ボンド」と命名し、当社単独で投資を実行しました。今回の投資は、機関投資家としてこれまで直接サポートすることができなかった海外の人々の健康づくりに寄与することを企図しています。

世界的に平均寿命が延びている一方、認知症や介護などのリスクが増加しており、健康的な生活を送ることができる期間である健康寿命の延伸が重要となっています。ラテンアメリカおよびカリブ海地域の諸国においては、平均寿命が76歳に対して、健康寿命は65.7年と、日本同様に大きな乖離が生じています。収入や貯蓄が少なく国民が十分な医療を受けることができない点や、経常収支が恒常的に赤字であり社会保障や政府の収支改善が急務である点も、健康寿命の延伸に向けた重要な課題となっております。

本債券への投資資金は、ラテンアメリカおよびカリブ海地域の医療体制の改善や健康的な生活習慣の促進につながるプロジェクトをはじめ、IDBが展開する加盟諸国の経済・社会発展のためのプロジェクトに充当される予定です。その結果、治療体制の改善やヘルスケアサービスへのアクセス向上による生活習慣病の発症・重症化予防が促進され、健康寿命の延伸につながることを期待されます。

【本債券の概要】

発行体	米州開発銀行 (IDB)
債券の購入額	160百万豪ドル (約152億円)
払込期日	2023年7月21日
償還期限	2038年7月21日
対応するSDGs目標	

【ご照会先】
 広報部 広報グループ TEL 03-3283-8054

明治安田生命保険相互会社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1

ひとに健康を、まちに元気を。



当社では、「明治安田フィロソフィー」を経営の根幹に据え、「10年後（2030年）にめざす姿」を「『ひとに健康を、まちに元気を。』最も身近なリーディング生保へ」と定めております。また、SDGsにおける17のゴール、およびこれらに内包される169のターゲットから導き出される社会課題のうち、「健康寿命の延伸」を特に注力する優先課題に設定し、課題解決に向け「みんなの健活プロジェクト^(注1)」を通じて、お客さまや地域のみなさま、従業員の健康づくりのサポートに取り組んでいます。

当社は「確かな安心を、いつまでも」という経営理念のもと、ESG投融資を通じてグローバルな環境・社会課題の解決と、国内地域経済活性化などの地域貢献により、社会的価値を創出していくことを推進しています。責任ある機関投資家として、引き続き、ESG投融資を通じて、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

【IDBの健康関連プロジェクト事例】^(注2)

■ニカラグアにおける地方自治体の地域保健プログラム

妊産婦と乳児の罹患率と死亡率の削減を促進することを目的としています。

具体的には、地域の総合医療システム（SILAIS）により健康格差を縮小するとともに、家族および地域の健康モデルに基づいた質の高いヘルスケアサービスへのアクセス向上・拡大を支援することで、治療体制の改善のみならず、医療および健康習慣に関する知識の浸透に貢献しています。



（注1）「人生100年時代」を迎え、健康寿命の延伸に対するニーズが高まっているなか、当社が「商品・サービス・アクション」の3つの分野で、「お客さま・地域社会・働く仲間（当社従業員）」の継続的な健康増進を応援する取組み

プロジェクト詳細：<https://www.meijiyasuda.co.jp/enjoy/ld/kenkatsu/>

（注2）上記事例は、ご紹介のみを目的としており、今回の債券の資金の活用を上記プロジェクトまたはその分野に限定するものではありません

以 上